



株式会社エスワイプロモーション

<電話番号>

営業部 03-5621-1201

<ホームページ>

<https://www.sy-pro.co.jp>

COMPANY
BROCHURE



エスワイ

人にしかできない感動を

「あの人に大切なものを届けたい」と思う、人の心。

たとえ、物を運ぶという産業がどんなに発展しても、

この想いに応えることは人にしかできないと私たちは思っています。

だから、エスワイプロモーションは、預けて頂いた荷主の方、

食品原料を作る生産者の方、そして食卓の向こうにいる

生活者の方々、その想いひとつひとつを大切にするために、徹底した

品質管理のもと、確実に誠実にお届けすることを使命としています。

「運ぶ」以上の感動を届けたい。

それが私たち、エスワイプロモーションです。

経営理念

お客様の「ところ」を運ぶ

お預かりする貨(荷)物に込められたお客様の「ところ」を大切に、その品質を損なうことなくお届けすることに努めます。

私たちはものを運ぶだけでなく、「ところ」もお客様からお客様へお届けします。

より良い原料にこだわる、生産者の「ものづくりのところ」
安心なものを口にしたいと願う、生活者の「普通のところ」
大切なものを確実に届けたいと思う、荷主の「信頼のところ」

これらすべての「ところ」に応えるべく、徹底した品質管理のもと安全で確実な輸送に努め、人々の「ところ」に安心と満足をお届けします。

ロゴの由来 - 私たちの心構え -

エスワイプロモーションのロゴは、
青と白をシンボルカラーにしたフェニックスマーク。

青と白の色には平和や誠実、安全の意味があり、私たちはこのマークに
「安全・安心な輸送の誓い」を込めています。

また、フェニックスは見たものに幸せをもたらすと言われているため、
この“エスワイマーク”が、人々が安心して豊かに暮らせる証として、
皆さまに幸せをもたらすような存在でありたいという想いを表しています。



SDGs宣言 - 私たちの取り組み -

株式会社エスワイプロモーションは、経営理念「お客様のところを運ぶ」のもと、
国連で採択された「SDGs(持続可能な開発目標)」を未来の重要な目標ととらえ、
人々が安心して豊かに暮らせる日常を輸送の面からささえ、持続可能な社会の実現に貢献します。

より効果的・効率的な物流を 4つの事業の連携で実現!!

4つの事業を横断する複合輸送で暮らしの「当たり前」を支え、
お客様の「こころ」をお届けします。



輸送業界では、全て保有していることが希少である4事業、

「ローリー事業」「トラック事業」「海運事業」「国際事業」を密接につなぎ、

且つ、4つの事業と密接に関連した「プラスワン事業」を展開しております。

今後も更なるユニークさをもって、様々なニーズにお応えできる企業を目指します。

エスワイプロモーションは、
キューソー流通システム (KRS)
グループの一員です。

ローリー事業

食品原料を中心に50年以上の
実績を持つ品質・ノウハウで
顧客ニーズに応じたバルク輸送を
提案します。



トラック事業

一般常温品・冷凍品・冷蔵品など
食品輸送の豊富な経験を活かし、
全国ネットワークでトラック・トレーラー
幹線(貸切便)輸送を提案します。



海運事業

バルク輸送で培ったノウハウと商品の
種類・ロット、輸送距離に応じて
最適な海上輸送を提案し、
物流コストの低減と安全性、
迅速性を追求しております。



国際事業

食品関連を中心に輸出入通関業務を
展開。更に、中国から運搬具の輸入と
そのリース・レンタル業など多様化する
お客様のニーズにお応えします。



プラスワン事業

4事業(ローリー・トラック・海運・国際)に
密接に関連する為に、コンテナリースや
タンクリニューアル、荷役・倉庫作業等の
業務請負、IoT端末による
管理システム等、物流業務に関連した
事業を展開中です。



ローリー事業

エスワイプロモーションが、最も得意とする分野がバルク輸送(※)です。輸送品目は、植物油脂・天然水・液糖類・アルコール・粉製品・ケミカル製品など、ほとんどの液体・粉体であれば、バルク輸送が可能です。近年では、液卵・牛乳のバルク輸送も取り扱っております。

輸送形態も2t車での小ロットのものから20tの大量ロットのものまで幅広く対応できます。創業以来の品質へのこだわりを受け継ぎ、品質保証の国際規格 ISO9001認証取得。さらなる品質管理に努めています。

※バルク輸送…梱包されていない液体、または粉粒体をそのままタンクに入れて輸送すること。

①大型タンクローリー(植物油脂・液糖・アルコール・液卵) 積載量10,000~12,900kg

タンクは腐食に強いステンレスで作られており、車両に搭載されたポンプで荷役を行います。一部の車両には保温装置を備えており、冷えて固まらないようにしています。当社のタンクローリーは食品を運ぶため、荷役に使用するホースやパッキン1枚に至るまで食品衛生法に適合したものを採用するなど、異物混入等で積み荷の品質に影響がないよう配慮しています。積み荷に応じて随時タンク洗浄を行います。



後2軸タンクローリー(コンテナ積載)1層式



前2軸タンクローリー(植物油脂)3層式



前2軸タンクローリー(液糖)1層式



後2軸タンクローリー(アルコール)3層式



前2軸タンクローリー(液卵)1層式



1軸モノコックタイプセミトレーラー

②タンクセミトレーラー(植物油脂・動物油脂・液糖・食酢・アルコール・食塩水・チョコレート・ケミカル系)

※フェリー及び鉄道を利用したモーダルシフトの物流組み合わせもごさいます。



海上タンクコンテナ(35ft2軸)
SUS製
20~25KL 高さ3.8m
全長15m



アルミ製タンクトレーラー(油脂)2軸シャーシ



SUS製液糖トレーラー



2軸SUS製
モノコックタイプ



1軸脱着コンテナタイプ



③小型タンクローリー(植物油脂)

ミニローリーとは、流量計とリールホースを備える小口配送用タンクローリーのことを言います。“ミニ”と言っても、最大積載量9tクラスの車両までであるので必ずしも小型という意味ではありません。荷主である食油メーカー様の工場やSP(※)で食用油を積み込み、食品工場や飲食店、スーパーなどユーザー様のタンクの残量を見ながら量り売りのように給油していきます。大型車では入れない場所や、ドラム缶や一斗缶相当の小ロットでの納入も対応可能です。

※SP…ストック・ポイントの略。工場から離れた地域の配送拠点(タンクヤード)としての機能を持ちます。



名古屋営業所 SPタンク積込場



白老SPタンク



4t積載ミニローリー

④粉粒体運搬車(小麦粉・コーンスターチ・コーングリッツ)

小麦粉やコーンスターチなどの粉を輸送する車両です。ホッパー車、バルク車とも言われます。

10t車(ダンプ式)とセミ・トレーラーの2種類を所有しています。粉を取り扱うため、荷役の際には圧縮空気の力を使います。積み込むときは積み荷が片寄ったり、固まったりしないように攪拌しながら積み込みます。一方、荷卸するときはタンク内に圧縮空気の力を吹き込み、吐き出すように納品します。



ホルスタインタイプ SUS製タンクセミトレーラー



ダンプアップタイプローリー



小麦粉 比重 0.5/kg/m³

⑤ご参考 ※商品特性に応じたタンク内洗浄技術があります。(保有営業所:千葉・静岡・神戸・福岡)



千葉営業所 洗浄設備



グラスファイバー製タンク(食塩水用)



食油 共洗い作業



静岡営業所 洗浄設備

トラック事業

海運事業

常温・定温・冷蔵・冷凍と積載品に応じた車両で安全・確実に輸送致します。KRSグループのネットワークを活用した小口の共同配送から長距離幹線輸送まで、状況によって、フェリー航送やスイッチ輸送まで幅広く対応致します。また、貨物利用運送(車両手配)の全国ネットワーク活用と手配力を発揮致します。

①冷蔵・冷凍(2~12t積載車)

※10t冷凍冷蔵車は最大16パレット(1.1パレット換算)積載が可能です。一部車両には2エバタイプやパワーゲートも装備しています。
※冷凍品、チルド品では庫内温度をリアルタイムに記録しています。



冷蔵ウィング車 3t箱車 箱庫内 12t箱車

※フェリー及び鉄道を利用したモーダルシフトの物流組み合わせもごさいます。
様々なトラック・トレーラー輸送/幹線(貸切便)輸送を提案致します。

②冷蔵・冷凍セミトレーラー(18~19t積載車)



近海郵船からシャシーを繋げて下船する風景

40Fリーファコンテナ

③ドライウィング



低床4軸大型車

3t積載車

④ウィングセミトレーラー



冷蔵ウィング
トレーラー

バルク輸送で培った品質管理のノウハウを活かし、北海道から沖縄まで網羅する植物油脂専用船、日本海航路でNo.1の酢酸ビニル輸送を堅持するケミカル船、北海道、東北航路に実績のある貨物船輸送など、各々が特色ある運行をしております。

主要取引先と輸送品目

油脂	取引先	昭和産業	輸送品目	菜種油	ケミカル	取引先	クラレ	輸送品目	酢酸	貨物	取引先	日清オイリオ	輸送品目	菜種粕・大豆粕
		日清オイリオ		JNC			酢酸ビニル・SM		丸全昭和運輸			小麦・メイス・大豆		
		J-オイルミルズ		大豆油			CGエスター		フタル酸エステル			岡谷鋼機		鉄鋼原料
				パーム油			新日本理化		アルコール			日鉄物流		鉄鋼製品

①植物油脂タンカー ※国内の油脂船15隻のうち、6隻をシヨクユタンカー(株)と配船センターを共に立上げ運航しております。



第二青鷹 322t 1000PS 10.5ノット
(船主 松田汽船)

第七清福丸 299t 1000PS 10.5ノット
(船主 橋本海運)

油脂船の積み込み風景

②ケミカルタンカー

※ケミカル船のタンク材質は、SUS316Lを使用しており、他社では取扱の難しい酢酸や燐酸液の輸送が可能です。
※長年培った洗浄技術により、潤滑油添加剤等やトル油等の輸送が可能です。



幸青鷹 576t 1000PS 11ノット
(船主 六甲船舶)

青鷹101 498t 1000PS 11ノット
(船主 エスワイプロモーション)

第六青鷹 498t 1000PS 11ノット
(船主 六甲船舶)

③貨物船 ※全国に鉄鋼、飼料関係を中心に年間85万トンの輸送実績を有する貨物船



第五王海丸 499t 1000PS 11ノット (船主 波方造船所)

第三共和丸 498t 2000PS 12ノット
(船主 仲矢海運)

※艙内にある仕切板を利用した2品種積が可能です。

春陽丸 499t 1800PS 11ノット (船主 小川海運)

SUS製

第二おおあみ 498t 2000PS 11ノット (船主 波方造船所)

国際事業

プラスワン事業

通関業と国際業務で、一気通貫した国際物流の実現に向け走り出しています。2006年より通関業務に参入し、グループ内外の食品の輸出入業務を展開。同年、グループ会社と共に中国に設立した現地法人において、中国国内のローリー輸送をはじめ、冷凍・冷蔵食品の保管配送を行なっております。さらに、中国から運搬具の輸入とそのリース業や、1tサイズのコンテナを輸入・レンタルするなど、多様化するお客様のニーズへの対応を始めており国内外の物流パートナーを有しています。

①コンテナドレージ ※大手食品メーカーをはじめ、各社の輸出入品の通関業対応します。



ドライ40F HQ (背高)



リーファ20F MG (発電機)付



リーファ40F MG付3軸シャーシ

②バンニング・デバンニング風景



冷凍食品輸出



菓子輸出バンニング



原料輸入デバンニング

③1tコンテナ レンタル・販売

※タンクローリーとドラムの隙間を埋めるロットとしての輸送容器を提案致します。また国内ローリー・トラックとの物流連携と国内/海外間の物流も可能です。



SUS製
折畳式コンテナ
液体輸送用折り畳み式コンテナをレンタルしております。使い捨て内袋を利用した衛生的な運搬可能な少容量のニーズに対応しております。



排出口バルブ



樹脂製コンテナ (内袋式)

④その他 (ドライ、タンクコンテナリース・販売)



24KL海上タンクコンテナ (20F)



海上リーファコンテナ (40F)



海上リーファコンテナ ウルトラフリーザ (40F)

冷凍マイナス60度

核となる4つの事業に加えてタンクビジネスをプラスワン事業として展開しています。法令で定められている移動貯蔵タンク (危険物タンクローリー) の定期点検 (ガス圧力検査) を出張サービスにより実施しています。また、タンクローリー技術を活かしたSUS製ハードコンテナのSCT (サニタリー・シリンダー・タンク) の販売・レンタル事業に取り組んでいます。

①移動貯蔵タンク定期点検 (ガス圧力検査)

窒素ガスでタンク室を加圧して一定時間内の圧力変化を計測し、漏えいの有無を確認しています。



タンク上 検査機器接続



PCと検査機器

検査機器や窒素ポンペを積載したサービスカーの出張点検により、検査車両を動かさず手間なく点検が可能です。



点検サービスカー



サービスカー車内



サービスカー車内

②SUS製ハードコンテナ SCT (サニタリー・シリンダー・タンク) の販売・レンタル

SCTはステンレス製コンテナのため、耐久性と衛生面に長けています。タンクに角がなく排出口までの配管がないため、サニタリー性に優れています。内袋不要のため、処理の手間や費用を省き廃プラ・脱プラに貢献します。タンクサイズや材質、CIPシャワーノズル等のカスタム・オプション選択が可能です。



SCT (サニタリー・シリンダー・タンク)



配管がない排出口



CIPシャワーノズル
※オプション

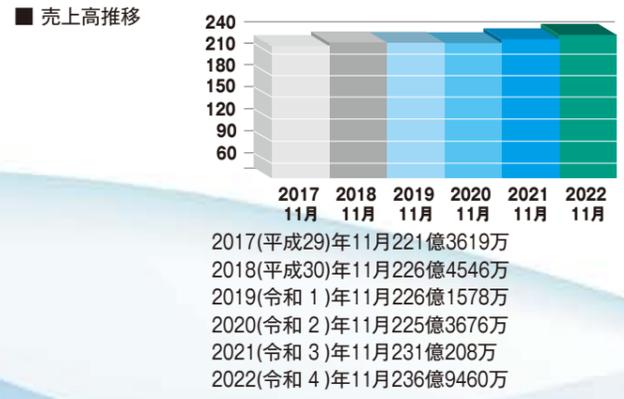
タンクサイズ/材質

名称	SCT1000L	SCT700L
横	1,130mm	1,130mm
奥行	1,130mm	1,130mm
高さ	1,600mm	1,280mm
本体重量	250kg	221kg
最大積載量	1,000ℓ	700ℓ
材質	SUS304・316L	

- 会社概要 -

■ 会社の商号	株式会社 エスワイプロモーション S.Y.PROMOTION Co.Ltd																		
■ 設立	1963(昭和38)年9月16日																		
■ 本社住所	〒135-0042 東京都江東区木場5丁目5番2号 CN-1 BLDG. 5階 TEL 03-5621-1201 (営業) 03-5621-1208 (総務) FAX 03-5621-1237																		
■ 資本金	2億円																		
■ 株式	会社が発行する株式数 1,600,000株 発行済株式総数 400,000株																		
■ 株主	株式会社キューソー流通システム/キュービー株式会社/昭和産業株式会社/株式会社J-オイルミルズ/ 日清オイリオグループ株式会社/三井住友海上火災保険株式会社 (五十音順)																		
■ 決算日	毎年11月30日																		
■ 事業内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 一般貨物自動車運送事業</td> <td>10. 石油並びに石油関連製品の売買業</td> </tr> <tr> <td>2. 貨物利用運送事業</td> <td>11. 飲食品、飼料並びにその原材料、 機械装置並びにその部品等の販売及び輸出入業</td> </tr> <tr> <td>3. 海上運送事業</td> <td>12. 物流設備機器等のリース及びレンタル業</td> </tr> <tr> <td>4. 倉庫業</td> <td>13. 古物の売買</td> </tr> <tr> <td>5. 通関業</td> <td>14. 医薬品原料・医薬部外品原料・化粧品原料、 その他化学製品の売買業</td> </tr> <tr> <td>6. 不動産の賃貸及び管理業</td> <td>15. 移動貯蔵タンク定期点検事業</td> </tr> <tr> <td>7. 船舶貸渡業</td> <td>16. 前各号に付帯関連する一切の事業</td> </tr> <tr> <td>8. 船舶及び車輛の売買業</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 食用油脂製造業</td> <td></td> </tr> </table>	1. 一般貨物自動車運送事業	10. 石油並びに石油関連製品の売買業	2. 貨物利用運送事業	11. 飲食品、飼料並びにその原材料、 機械装置並びにその部品等の販売及び輸出入業	3. 海上運送事業	12. 物流設備機器等のリース及びレンタル業	4. 倉庫業	13. 古物の売買	5. 通関業	14. 医薬品原料・医薬部外品原料・化粧品原料、 その他化学製品の売買業	6. 不動産の賃貸及び管理業	15. 移動貯蔵タンク定期点検事業	7. 船舶貸渡業	16. 前各号に付帯関連する一切の事業	8. 船舶及び車輛の売買業		9. 食用油脂製造業	
1. 一般貨物自動車運送事業	10. 石油並びに石油関連製品の売買業																		
2. 貨物利用運送事業	11. 飲食品、飼料並びにその原材料、 機械装置並びにその部品等の販売及び輸出入業																		
3. 海上運送事業	12. 物流設備機器等のリース及びレンタル業																		
4. 倉庫業	13. 古物の売買																		
5. 通関業	14. 医薬品原料・医薬部外品原料・化粧品原料、 その他化学製品の売買業																		
6. 不動産の賃貸及び管理業	15. 移動貯蔵タンク定期点検事業																		
7. 船舶貸渡業	16. 前各号に付帯関連する一切の事業																		
8. 船舶及び車輛の売買業																			
9. 食用油脂製造業																			
■ 代表者	代表取締役社長 神谷 秀彦																		
■ 従業員数	664名																		
■ 取引金融機関	(株)三井住友銀行 新宿西口支店/(株)みずほ銀行 新宿営業部/農林中央金庫 本店/ 商工組合中央金庫 本店/(株)三重銀行 東京支店/(株)第三銀行 東京支店/(株)三菱UFJ銀行 本郷支店/ (株)りそな銀行 東京中央支店																		

■ 主要取引先
 ADEKA物流(株)/石井食品(株)/(株)伊藤園/伊藤忠ロジスティクス(株)/植田製油(株)/上野トランステック(株)/SBSフレック(株)/(株)カーギルジャパン/カルビー(株)/カルビーロジスティクス(株)/木田製粉(株)/キューソーティス(株)/
 (株)キューソー流通システム/キュービー(株)/キュービー醸造(株)/(株)キンレイ/(株)クラレ/ケンコーマヨネーズ(株)/
 合同酒精(株)/サミット製油(株)/CWロジスティックス(株)/(株)J-オイルミルズ/昭和産業(株)/(同)西友/全農物流(株)/
 第一貨物(株)/月島食品工業(株)/デンカ(株)/(株)友樹飲料/(株)なだ万/ナラサキスタックス(株)/日肝油糧(株)/
 ニッコー運輸(株)/日清オイリオグループ(株)/日清物流(株)/日鉄物流(株)/日本コーンスターチ(株)/ハウス物流サービス(株)/
 不二製油(株)/ポーソー油脂(株)/ホクレン農業協同組合連合会/幕別町農業協同組合/丸全昭和運輸(株)/丸大食品(株)/
 ミヨシ物流(株)/明和海運(株)/(株)モリタン/(株)やまひろ/(株)ランテック/(株)ロジスティクス・ネットワーク (五十音順)



保有車輛数

トラクター	144台	
タンクセミトレーラー	223台	
タンクローリー (大型車)	113台	
タンクローリー (中型車)	20台	
粉粒体バルク車 (大型車)	13台	
一般コンテナ用トレーラー	14台	
冷凍セミトレーラー	124台	
冷凍車 (大型車)	56台	
冷凍車 (中型車)	25台	
バン型セミトレーラー	19台	
ドライバン車 (大型)	38台	
その他 (荷役機械含む)	40台	合計829台

(令和5年2月10日現在)

- 沿革 -

1963(昭和38)年	9月	食品輸送株式会社創立。払込資本金1,000万円
	11月	府中営業所(現 千葉営業所に併合)開設
1966(昭和41)年	4月	福岡営業所開設
	12月	阪神営業所(現 神戸営業所)開設
1969(昭和44)年	7月	名古屋営業所開設
1971(昭和46)年	4月	払込資本金8,000万円に増資
1973(昭和48)年	10月	幸徳汽船株式会社((株)エスワイマリン)を設立
	11月	鹿島食品輸送株式会社(現 鹿島営業所)を設立
1981(昭和56)年	4月	札幌営業所・千葉営業所を開設
	11月	大阪食品輸送株式会社(現 大阪営業所)を設立
1984(昭和59)年	4月	払込資本金を1億6,000万円に増資
	11月	静岡食品輸送株式会社(現 静岡営業所)を設立
1988(昭和63)年	6月	払込資本金を2億円に増資
1991(平成3)年	1月	船橋物流センター(現 船橋営業所)を開設
	4月	小牧物流センター(現 中京営業所)を開設
1992(平成4)年	4月	京都事務所・唐津事務所を開設 社名を株式会社エスワイプロモーションに変更
1994(平成6)年	5月	本社を中央区から文京区に移転
1995(平成7)年	4月	(株)エスワイマリンを合併
	6月	新潟物流センター(現 新潟営業所)を開設
1996(平成8)年	1月	宮崎営業所開設
2000(平成12)年	2月	ISO9002/1994年版認証取得
2002(平成14)年	6月	決算期を9月30日に変更〔第40期(平成14年度)は4~9月の6ヶ月間〕
2002(平成14)年	7月	ISMコード認証取得
2002(平成14)年	9月	あさと物流(株)(当社100%子会社)設立(兵庫県神戸市)
2003(平成15)年	2月	ISO9001/2000年版へ移行・更新認定
2003(平成15)年	12月	社船「青鷹」進水
2004(平成16)年	4月	東日本配車センター(現 東日本管理センター)開設
2004(平成16)年	7月	本社を江東区木場に移転
2005(平成17)年	10月	グリーン経営認証取得(トラック運送事業)
2006(平成18)年	4月	通関業開始
2006(平成18)年	9月	上海丘寿儲運有限公司を合併にて設立
2006(平成18)年	9月	決算期を11月30日に変更(第45期は10~11月の2ヶ月間)
2006(平成18)年	10月	CSR室開設
	11月	グリーン経営認証取得(内航海運業)
2007(平成19)年	8月	京浜事務所を開設
2008(平成20)年	1月	通関室川崎事務所、石巻SPセンターを開設
2008(平成20)年	4月	白老SPセンターを開設
2009(平成21)年	12月	京都事務所が京都営業所に名称変更
2010(平成22)年	1月	安全性優良事業所認定
2010(平成22)年	4月	都城物流センターを開設
2010(平成22)年	12月	札幌北事務所を開設
2012(平成24)年	2月	社船「青鷹101」進水
2012(平成24)年	10月	国際業務部を新設
2015(平成27)年	1月	十勝事務所を開設
2015(平成27)年	5月	甲南営業所を新設
2015(平成27)年	6月	帯広事務所を開設
2015(平成27)年	7月	静岡チルド物流センターを開設
2017(平成29)年	12月	京都営業所を京都府船井郡から綾部市に移転
2018(平成30)年	4月	ISO9001/2015年版へ移行・更新認定
2018(平成30)年	11月	帯広事務所と十勝事務所を移転・統合し帯広営業所を開設
2019(令和1)年	6月	西日本配車センターを開設
2019(令和1)年	7月	トラック運送事業のグリーン経営認証を返納
2021(令和3)年	2月	東関東営業所を新設
2021(令和3)年	11月	東日本配車センターを開設
2022(令和4)年	11月	宮崎営業所を都城物流センターに統合

